

避難民・難民対象

2025 年 4 月入学

龍谷大学

外国人留学生入学試験要項

[学部・大学院]

For International Students

Only for Evacuees from homeland
(Undergraduate, Graduate School)

2025 Academic Year

Ryukoku University

Admission Guide

目次

龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
募集人数	10
共通事項	
出願書類、出願書類送付先、受験料、感染症に罹患した場合	10
合格発表、入学手続・学費、注意事項、不正行為	12
■正規留学生	
＜難民・避難民対象＞大学1年次入学 学科試験方式	13
＜難民・避難民対象＞大学院 学科試験方式	20
＜難民・避難民対象＞国際学研究科グローバルスタディーズ専攻 書類審査方式	28
お問い合わせ先一覧	32

避難民・難民を対象とした入学試験について

本学は、建学の精神である「浄土真宗の精神」に基づく人間育成を実現する心として5項目を示し、その中で「すべてのいのちを大切に『平等』の心」と「人類の対話と共存を願う『平和』の心」を掲げています。創立400周年を迎える2039年を見据えた長期計画（基本構想400）では仏教SDGsを掲げ、誰一人取り残さない取り組みを推進していることから、本学では、学位取得および課程修了を志望する避難民または難民の学生に対して、学びの機会を設けることは本学の使命であると捉え、入試制度を設けました。

履修する上で必要となる語学力や基礎学力を日本留学試験等で確認し、面接を通じて本学で学ぶ意欲と思考力について評価を行います。大学院では、学科試験や口述試験および出願書類を総合して評価を行います。

■龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○全学部

本学で学び得た能力を活かして国際的に活躍することを志す外国人学生を選抜することを目的としています。このような受験生を適正に選抜するために、提出書類（日本留学試験の成績を含む）において「知識・技能」を、面接において「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を中心として、総合的に評価します。

○文学研究科

文学研究科では、建学の精神に基づき、各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し、確固たる基礎学力を養成する。また本学の豊富な蔵書と、専攻ごとに設置された合同研究室を研究拠点として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ、自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を培う。これらの学力と能力を基礎として、さらに進んで学術の振興と文化の発展に寄与することを目指している。

また、本学を含む京都地区の宗教系大学の大学院が構成する「京都・宗教系大学院連合」の履修を通じて単位互換を実施している。また修士課程・博士後期課程ともに社会人入試を実施し、広く社会的要請にも応えている。

〈修士課程〉

修士課程では、広い視野に立って豊かな学識を身に付け、各専攻の学術の基本を修得した上で、さらに進んで各専攻分野における基礎的な研究能力を高め、加えて積極的な学術研究への取り組みを通じて、より高度な専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とし、洞察力に富んだ人材を養成することを目指している。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 専攻分野に関する基礎的な研究能力をもった人
- 積極的な学術研究に取り組みたいと考えている人
- 高度な専門性を活かした社会貢献を目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、各専攻分野において、進取の気概をもって学術研究を推進し、研究者として自立した研究活動に従事することができ、加えて、より高度に専門的な学術業務に従事するのに必要な研究能力、及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とし、積極的に学術文化の向上と社会の発展に寄与する人材を養成する。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 研究者として自立した研究能力をもった人
- 高度な学術専門業務に従事しようと考えている人
- 積極的に学術文化の向上と社会発展に寄与することを目指している人

○法学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

- 大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人
- 世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

○経営学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる専門職業人及び研究者を育成するため、次のような人を求めている。

アカデミック・コースは、研究者養成を目的とし、以下のような人を求めている。

- 修士課程修了後に博士後期課程に進学し、自立した研究者として経営学の研究を深めていくことをめざしている人
- 研究を進めていく上で必要な経営学に関する基礎的で全般的な知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の能力を有している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる自立した研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- 経営学の特定の領域に関しての深い専門的知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の高い能力を有している人
- 自ら研究テーマを設定し、論文として執筆していく能力を有している人

○社会学研究科

◇社会学専攻

〈修士課程〉

修士課程では、複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題を、社会的視点から研究したいと考えている人
- 社会学理論と社会調査法についての基礎的な知識や能力を有する人
- 社会学理論や社会調査の知識や能力を実践的に活かせる職場への就職、また職業ジャーナリストを目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学およびジャーナリズム論の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会学理論や社会調査法の理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等、高度な研究能力を必要とする職場への就職を目指している人

◇社会福祉学専攻

〈修士課程〉

修士課程では、現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 複雑な社会福祉問題を、社会福祉学的視点から研究したいと考えている人
- 社会福祉学理論と社会福祉実践について基礎的な知識や能力を有する人
- 高度専門職業人として社会福祉学的知識や社会福祉実践についての能力を実践的に活かせる場への就職を目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な社会福祉問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会福祉学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会福祉学理論や社会福祉実践についての理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等高度な研究能力を必要とする職場、あるいは専門職業人としての高度な実践能力を必要とする職場への就職を目指している人

○先端理工学研究科

〈修士課程〉

数理・情報科学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・数理・情報科学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

知能情報メディアコース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・知能情報メディア分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

電子情報通信コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・電子情報通信分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

機械工学・ロボティクスコース

修士課程では、機械工学・ロボティクスに関する専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・機械工学・ロボティクス分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野のより深い知識の修得と研究に対し、明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

応用化学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・応用化学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

環境科学コース

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・環境科学分野における専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- ・専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- ・持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

〈博士後期課程〉

数理・情報科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・自立して数理・情報科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・専門分野および周辺分野についての高度な知識を持っている人
- ・科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

知能情報メディアコース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・自立して数理・情報科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・専門分野および周辺分野についての高度な知識を持っている人
- ・科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

電子情報通信コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・自立して電子情報通信分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- ・科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

機械工学・ロボティクスコース

博士後期課程では、自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて、社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・ 機械工学・ロボティクス分野における専門領域および周辺領域の高度な知識を修得している人
- ・ 自立して機械工学・ロボティクス分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・ 科学技術の発展に貢献できる研究者や世界的な活躍を目指している人

応用化学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・ 自立して応用化学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・ 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- ・ 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

環境科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- ・ 自立して環境科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- ・ 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- ・ 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際学研究科

〈修士課程〉

国際文化学専攻

相互依存が一層著しく進む現在の世界が直面する諸課題に対して、文化という観点から批判的に研究を遂行し、その研究で得られた知見を国際社会のなかで専門的かつ実践的に発揮できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的な視点に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うために、国際文化研究の領域において意欲的に研究を進めようとする人
- 日本、共生社会、言語文化、宗教文化、芸術・メディアなどに関するテーマを、国際的な視野に基づく学問の理論と方法論で研究することを目指す人
- 国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

グローバルスタディーズ専攻

グローバル社会の複雑な諸問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、高い語学力や専門知識だけでなく、対話力、分析力・考察力、課題探求力といったグローバル人材に不可欠な資質能力を養い、将来、国際的な課題の解決や豊かな社会の創造に貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル化が急速に進展し、世界のさまざまな問題が一層複雑化するなかで、そのような諸課題の原因究明と解決方法の提案に向けて、意欲的に研究しようとする人
- 大学院研究科での研究を通じて、深い専門的知識、高い語学力や対話力、分析力や考察力といった課題探求力を培い、リーダーシップを発揮して国内外の社会において活躍したい人

言語コミュニケーション専攻

グローバル社会における言語コミュニケーションに関連する問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、相互に関連を深める国際情勢を複眼的な視点から総合的・大局的に分析し、問題解決に向けて高い英語力・対話力をもって積極的に行動できるリーダーを育成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル社会において、高い語学力・対話力をもってリーダーシップを発揮して活躍すると同時に、他者に対する理解力や寛容さあるいは柔軟性と批判的精神をもって、相互理解や多文化理解を積極的に推進したい人。
- 大学院研究科での研究を通じて、言語コミュニケーションに関わる専門的知識や技能を培い、将来、中学校・高等学校英語教員（専修免許）、通訳・翻訳者などの高度の専門的職業人、あるいは研究者として、国内外の社会に貢献したい人

〈博士後期課程〉

国際文化学専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材、多文化の共生する社会の実現に向けて学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的および学際的な視点に立脚するとともに、自らの専門的知識に基づいて、国際文化研究の領域における新たな知の地平を切り開こうとする人
- 大学院修士課程までの研究において、基礎的研究能力をすでに有していることを示せる人
- これまで十分解明されていない論点について、独自の学術的貢献を果たしたいという意欲を持つ人

グローバルスタディーズ専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、グローバルな舞台においてリーダーシップを発揮できる人材、グローバル化する国際社会の抱える諸問題の解決に学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻および言語コミュニケーション専攻の専門性を踏まえて、特に次のような人を求める。

- 大学院修士課程において関連分野の幅広い専門知識を修得するとともに、高度な学術的研究を行うために必要な自律的・主体的研究力を有している人
- 独自の視点から研究テーマを設定し、テーマの背景にある原因の究明と解決方法の提案に向けて意欲的に研究し、独自の学術的貢献を果たしたいという強い意欲を持つ人
- 大学院研究科での研究を通じて、高い語学力および深い専門的知識を培い、国内外の社会において研究者としてまた高度の専門的職業人として活躍したい人

○政策学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人
- 地方自治体やNPO、企業等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人
- 職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場に必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、社会の持続可能な発展について深く考察し、人類的及び地域的課題の解決に必要な政策学の知識と構想力を身につけた研究者、及びより高度の専門的職業人を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 政策学についての優れた知識と、政策課題の分析や政策立案に関するより高度な専門的能力を修得したいと考えている人
- 参加や協働に求められるより高度な専門的能力を獲得し、課題解決志向の実践的な政策学を修得したいと考えている人

○農学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、「食」や「農」に関わる高度かつ先端的な研究成果を正しく理解・修得し、それらを活用しながら現実的な課題の解決に取り組むことのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門分野の基礎的な知識を修得している人

- 「食」や「農」に関する専門分野の研究に積極的に取り組む強い意志を有する人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決に強い関心のある人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、「食」や「農」に関わる課題解決に役立つ新たな理論、知見、技法を創造・発見することのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門的かつ高度な知識を修得している人
- 「食」や「農」に関わる学問の発展に尽くす意欲を強く持つ人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決及びそのための新知見・技法の開発に強い関心のある人

○実践真宗学研究科

本研究科では、仏教（真宗）の教学・教義を基礎として、現代の宗教的かつ社会的な諸問題に対応するとともに、より高度な実践能力を持ちうる宗教的实践者を養成するため、次のような人を求めている。

- 現代の社会的要請をふまえ、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践・社会実践に高い関心を持っている人
- 個人や社会が直面する諸問題について解決の方策を専門的に研究する意欲があり、宗教的实践者として現代社会に貢献することへ高い志と熱意を持つ人
- 地域社会や世界各地において、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践や社会実践を行うエキスパートとなることを目指す人

○心理学研究科

〈修士課程〉

- 多様な心理学的課題を抱えた現代社会において、人々の心の世界に深く関心を向け、その背景にある要因を探求したいという強い意欲のある人
- 心理的に困窮している人に対して、高度な心理学的支援法を身につけ、その苦悩や困難からの回復に寄与したいと考えている人
- 心理学的支援の基礎となるコミュニケーション・スキルを高め、人間社会のあらゆる場面における心理的課題の解決に寄与するために主体的に学び続けることができる人

〈博士後期課程〉

①研究者養成コース

- 多様な心理学的課題を抱えた現代社会において、人々の心の世界に関心を深く向け、その背景にある要因をより多角的・包括的視点から探究し、研究したいという意欲のある人

②高度専門職業人養成コース

- 臨床心理学領域分野における高度専門職業人として高度で包括的な臨床能力の獲得を目指し、より効果的な指導を後進に行い、今後の人材育成に積極的にかかわりたいという意欲のある人

③両コース共通

- 心理的に困窮している人を支援する専門職が抱える問題や成長のための課題を解決できるような高度な実践的知識を修得し、より高度な心理学的支援法を身につけたいと考えている人

募集人数

全学部・研究科合計 10名（各学部 若干名）

※外国人留学生入試の募集人員枠内とする。

※経営学部商学科は、2025年4月開設予定です。

※社会学部・社会学研究科は、2025年4月に深草キャンパスへ移転します。

※「環境生態工学課程」は2025年4月から、「環境科学課程」に名称を変更します。

※社会学部 総合社会学科は、2025年4月開設予定です。

出願書類

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

やむを得ない事情により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

出願書類のうち、本学所定様式については、本学Webサイトよりダウンロードしてください。

〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/yoko/evacuee/>

〈ID〉 ryukoku

〈PW〉 2024evacuee



1. 学部、研究科、試験種別により出願書類が異なります。

出願する学部、研究科、試験種別の指定する書類を提出してください。

2. 所定の出願書類の他に、出願資格によっては、適宜必要書類の提出を求めることがあります。

3. いったん提出された出願書類は、返却しません。

ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として2次審査日に返却します。

2次審査がオンラインの場合は、郵送にて返却します。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

出願書類送付先

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学入試部

市販の封筒（出願書類を折らずに封入できるサイズ）にて、簡易書留・速達で郵送してください。

※入試部への持参も可能です。

受験料

受験料は免除いたします。納入は不要です。

出願される方は、出願する意思がある旨を事前に龍谷大学入試部へ連絡してください。

TEL : 075-645-7887

メールアドレス : ryukoku-application@ml.ryukoku.ac.jp

感染症に罹患した場合

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

合格発表

1. 合否結果は合格発表日に本人に郵送で通知します。
2. 合否結果に関する問い合わせには一切応じられません。

入学手続・学費

1. 入学金は免除いたします。

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類と手続方法を通知します。

所定の期日までに入学手続（手続書類の提出）を完了してください。

2. 学費

本入学試験で入学する学生は、「自国の政変等の影響を受ける外国人留学生に対する特別援助奨学金規程」を適用し、学費を免除します。

入学手続と合わせて、所定の申請書類を提出してください。

注意事項

1. 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
2. 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。また、合格後にそれが明らかになった場合は、入学を取り消します。
3. 龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。
4. 社会情勢の急変等により、入試日程、試験内容等を変更する場合があります。変更がある場合は入試情報サイト等で随時お知らせします。
5. 入国制限等により受験できない場合があります。なお、その場合は受験料から手数料を差し引いた額を返還します（書類審査方式は除く）。
6. 万が一受験料を返還する場合は、返還にかかる手数料1,000円を差し引いた金額を返還させていただきます。
7. 学部、研究科、試験種別により出願書類が異なります。対象となる所定の書類を提出してください。
8. 出願資格によっては、所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。
9. いったん提出された出願書類は、返却いたしません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として合格発表日以降に返却します。
10. 各種証明書の氏名が、現在の氏名と異なる場合は、それを証明する公的書類（戸籍抄本・住民票等）を提出してください。

11. 各試験室において、試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。
試験時間中の途中退席は認めません（体調不良の場合は監督者に申し出てください）。
試験終了後の退室についても監督者の指示に従ってください。
12. 出願書類への記入は出願者本人が黒色のボールペンではっきりと記入してください
（消せるボールペン不可）。修正する場合は、二重線を引いて訂正してください。

不正行為

1. 次に例示したことは不正行為になります。
 - ・ 出願書類の偽造・虚偽記載をすること。
 - ・ 解答用紙に故意に虚偽の記載等（解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ・ カンニング行為（カンニングペーパー、教科書、参考書、他の受験生の答案を見る、携帯電話、スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末、電子辞書、翻訳機、IC レコーダー等の電子機器類を使用する、他の人から答えを教わる等）をすること（電子機器類の電源を切っただけ等にかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりしていた場合も不正行為となることがあります）。
 - ・ 志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ・ 試験中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
 - ・ 指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めた、または解答をやめなかった。
 - ・ 試験中の使用を認められていない用具を使用した。
 - ・ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に、試験教室から持ち出した。
 - ・ 試験時間中に問題の内容を他者に伝えた。
 - ・ 解答用紙を試験教室から持ち出した（持ち帰る）。
 - ・ 試験時間中または休憩時間に関わらず、他の受験生の妨害や迷惑行為を行った。
 - ・ 監督者等の指示に従わない。
 - ・ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をした。
2. 不正行為が疑われる際に、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したとみなす場合があります。
 - ・ 監督者等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・ 席の移動または別室での受験をもとめること。
3. 不正行為と認められた場合の本学の対応は以下のとおりとします。
 - ① その場で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなります。
 - ② 当日の入学試験の成績を含め、本年度受験した本学入学試験すべての成績を無効とします。
 - ③ 当該年度に行われる本学の全ての入学試験の受験を認めません。※上記①～③いずれの場合も受験料は返還しません。
 - ④ 必要に応じて警察に被害届を提出する場合があります。

避難民・難民対象

正規留学生 大学1年次入学 学科試験方式 入学試験要項

学部正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、学部の卒業を目的として入学する者です。

出願資格

避難民・難民であり、外国の国籍を有する者で、本学が定める日本留学試験（日本学生支援機構）を受験しており、次の①～⑦のいずれかに該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（修了見込みの者）。
- ② 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者。
- ③ 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者（修了見込みの者）。
- ④ 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（修了見込みの者）。
- ⑤ 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベルを保有する者。
- ⑥ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者（修了見込みの者）。
- ⑦ 本学学部教授会が同等の資格を有すると認めた者。

○経営学部出願者および社会学部については、上記の出願資格に加えて、次の(1)と(2)の全てを満たす者。

- (1) 日本留学試験（日本学生支援機構）「日本語（記述問題を含む）」270点以上。
 - (2) 日本留学試験（日本学生支援機構）「総合科目」120点以上または「数学（コース1）」120点以上。
- ※いずれの科目も出題言語は日本語に限る。

○国際学部グローバルスタディーズ学科出願者については、次の資格（スコア）のいずれかを取得していること。2022年4月1日以降に受験した資格検定試験を有効とする。

- (1) 実用英語技能検定（英検）2級以上
- (2) TOEFL iBT® 55点以上
- (3) TOEIC® L&R 600点以上
- (4) GTEC 920点以上
- (5) 国連英検 B級以上
- (6) IELTS™ 5.0以上

※ 実用英語技能検定は、英検 S-CBT、英検 S-Interview を含む（英検 IBA®・英検 プレテストは除く）。

※ TOEIC®は、L&R IP テスト・IP オンラインテストを除く。

※ TOEFL®のスコアを出願資格として用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または、「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出すること。TOEFL iBT®は、Test Date スコアに限ります（「My Best™ Scores」は利用できません）。

※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください（CBTを含む）。

○国際学部出願者については、日本留学試験（日本学生支援機構）を受験しておらず出願資格が満たせない場合は、別途小論文試験を課すことを条件に受験資格を認めます。

○先端理工学部出願者については、2024年4月以降に受験し、取得したスコアであることを実施団体が証明する成績通知書を提出してください。

※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT®テストはTest Data スコアに限ります。（「My Best™ Scores」は利用できません。）

※TOEIC® L&R IP テストは含みません。TOEIC® L&R IP オンラインテストは含みません。TOEIC® S&W テストは含みません。TOEIC® S&W IP オンラインテストは含みません。

なお、避難民・難民の自国の情勢により出願資格等が満たせない場合は、教授会において個別に判断する。

- (1) 日本留学試験や日本語能力試験が受験できない場合
- (2) 卒業証明書・成績証明書等の出願書類の一部が提出できない場合
- (3) その他出願に際して支障がある場合

注. 本学の講義は日本語で行われますので、講義が理解できるだけの日本語能力が必要です。
また、社会学部は英語が必修科目ですので、ご注意ください。

■入試スケジュール・選考方法

募集学部学科	出願期間 <small>※郵送または持参</small>	1次審査 結果通知日	2次審査日	合格発表
文 学 部 心 理 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 法 学 部 政 策 学 部 国 際 学 部 先 端 理 工 学 部 社 会 学 部 農 学 部	2024年 9月27日(金)～ 10月4日(金) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2024年 11月9日(土)	2024年 11月16日(土)

1次審査内容(受験資格審査)

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。

2次審査内容

	学部	説明・書類記入	面接	試験会場
試験科目 試験時間 試験会場	文学部	8:40~9:00	9:00~	龍谷大学 深草キャンパス ※1
	心理学部			
	経済学部			
	経営学部			
	法学部			
	政策学部			龍谷大学 瀬田キャンパス ※1
	国際学部			
	先端理工学部			
	社会学部			
	農学部			
※1 避難民・難民の自国の情勢に鑑み、受験生の状況に応じて教授会が必要と認めた場合は、オンラインで実施します。				
合否判定	日本留学試験の成績、面接および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席（日本留学試験の各学部の定める科目の未受験を含む）した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、合否の判定対象としません。			

科目・配点	学部	科目	配点および換算※	
	文学部		日本留学試験「日本語」	100
		日本留学試験「総合科目」	100	200点を100点に換算
		面接	100	—
心理学部 経済学部 社会学部		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「総合科目」又は「数学（コース1）」	100	200点を100点に換算
		面接	100	—
経営学部		日本留学試験「日本語」	200	450点を200点に換算
		日本留学試験「総合科目」又は「数学（コース1）」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—
法学部		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「総合科目」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—
政策学部		日本留学試験「日本語」	200	450点を200点に換算
		日本留学試験「総合科目」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—
国際学部 国際文化学科		日本留学試験「日本語」	50	450点を50点に換算
		日本留学試験「総合科目」又は「数学（コース1）」	50	200点を50点に換算
		面接	100	—
国際学部 グローバルスタディーズ学科		日本留学試験「総合科目」	100	200点を100点に換算
		面接	100	—
先端理工学部		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「数学（コース2）」	100	200点を100点に換算
		日本留学試験「理科（2科目選択）」	100	200点を100点に換算
		面接	100	—
農学部 生命科学科		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「理科（2科目選択）」	100	200点を100点に換算
		面接	100	—
農学部 農学科 食品栄養学科		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「理科（2科目選択）」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—
農学部 食料農業システム学科		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「理科（2科目選択）」又は「数学（コース1）」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—

※点数換算における小数点は切り上げとします。

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

やむを得ない事情により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

(1) 入学願書 (本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 出願シート (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。

※入学後、学生証の写真差し替える場合は、有料となります。

※入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

(3) 卒業証明書・成績証明書 (いずれも原本)

高等学校の卒業証明書・成績証明書を提出してください。

日本の大学に入学するための準備教育課程(文部科学大臣指定)を修了もしくは修了見込みの者は、修了(見込み)証明書も提出してください。

なお、学士またはそれ以上の学位の取得者で、その学位取得証明書を提出する場合は、高等学校の卒業証明書・成績証明書の提出は不要です。

注 意 事 項

- ① 卒業(修了)見込の場合、**卒業(修了)見込証明書**を提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 大学等の高等教育機関に在学中の場合、**在学証明書**も提出してください。
- ④ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという翻訳証明書(公印付のもの)と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑤ 証明書の**コピーは一切不可**です。

(4) 「日本留学試験」(日本学生支援機構)の成績確認書

次の「日本留学試験」のうち、いずれか1つを選んで提出してください。複数試験の提出や出願後の追加提出・変更は認めません。

2022年第2回(11月実施)・2023年第1回(6月実施)

2023年第2回(11月実施)・2024年第1回(6月実施)

学部	学部の定める受験科目
文学部	「日本語(記述問題を含む)」 「総合科目」
法学部	
政策学部	

心理学部	「日本語（記述問題を含む）」 「総合科目」又は「数学（コース1）」
経済学部	
国際学部 国際文化学科	
農学部 食料農業システム学科	
経営学部	「日本語（記述問題を含む）」 「総合科目」又は「数学（コース1）」 いずれの科目も出願言語は日本語に限る。
社会学部	
国際学部 グローバルスタディーズ学科	「総合科目」
先端理工学部	「日本語（記述問題を含む）」 「理科（物理、化学、生物から2科目）」 「数学（コース2）」
農学部 生命科学科	「日本語（記述問題を含む）」 「理科（物理、化学、生物から2科目）」
農学部 農学科	
農学部 食品栄養学科	

(5) **難民認定証明書等のコピー**

「難民認定証明書」等のコピーを提出してください。

※政府・行政機関や国連関係機関等が発行する難民認定に係る証明書でも可とすることがありますので、まずはお問い合わせください。

(6) **在留カードのコピー**

在留カードの表と裏の面を A4 サイズの用紙にコピーしたものを提出してください。

(7) **資格（スコア）取得を証明する書類（国際学部グローバルスタディーズ学科出願者のみ）**

2022年4月1日以降に取得したことを実施団体が証明する正式文書（写し）を提出してください。

詳細は13ページの出願資格を確認してください。

(8) **TOEFL®またはTOEIC®の成績通知書（コピー）（先端理工学部出願者のみ）**

2024年4月以降に受験し、取得したスコアであることを実施団体が証明する成績通知書を提出してください。

(9) **オンライン面接に関する誓約書（本学所定用紙）※文・心理・経済・法・先端理工学部出願者は不要**

ボールペン（黒）または万年筆で記入してください。記入日及び本人氏名を記入の上、必ず押印（印鑑を持っていない場合は所定箇所に別途サイン）してください。

○オンライン面接における注意事項

〈事前準備〉

次のことに注意してオンライン面接の準備をしてください。

- (1) 本学 Web サイトより「オンライン面接に関する誓約書（本学所定用紙）」（提出必須）やオンライン面接システムのマニュアルをダウンロードのうえ（URLは10ページ**出願書類**を参照）、内容を必ず確認してください。
- (2) Web カメラおよびヘッドホン（イヤフォン）、マイクは各自でご用意ください（PC などの付属カメラ、マイクの使用も可）。スピーカーは使用しないでください。
- (3) 試験当日、同室に他の人がいない個室で受験できるようにしてください。
- (4) オンライン面接マニュアルに記載の手順にて、事前にオンライン接続テストを行ってください。また、事前接続テストは試験当日に使用する環境で実施してください。

- (5) 事前接続テストを実施せず、試験当日 URL にアクセスできなかった場合は、欠席とします。期間内に必ず実施してください。
- (6) PC メールアカウントをご用意ください。オンラインでの面接試験実施に伴い、事前情報送付のために E メール (PC メール) を使用します。
- ※ メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かない、迷惑メールに分類される可能性があるため、@ml.ryukoku.ac.jp、@ad.ryukoku.ac.jp、@adm.ryukoku.ac.jp、@harutaka.jp を受信可能なドメインとして必ず設定してください。
- (7) 出願書類及び受験料支払いで記載するメールアドレスについて、記載に誤りがないようご注意ください。

〈試験当日〉

- (1) 事前に通ずる「面接開始目安時間」の 5 分前に面接 URL を入力し、面接ルームに入室して待機してください。
- ※面接試験開始時間が多少前後する場合があります。
- ※ 当日使用する機器を電源に接続し、面接ルーム以外の Web ページ・アプリを閉じた状態で待機してください。
- ※ 機器は 1 つのみ使用し、併用は禁止です。
- (2) 「面接開始目安時間」から 10 分経っても接続されなかった場合、受験を認めないことがあります。
- (3) 公平な試験実施のため、本学側で録画を行います。受験生側での撮影・録音・録画・他所へのオンライン等による中継、試験内容のメモ等は一切禁止とします。
- (4) 試験時間中は、バーチャル (仮想) 背景の使用は禁止とします。
- (5) 以下の行為は不正行為とみなし、発覚した場合には受験を無効とする場合があります。
- ①試験時間中に途中退出すること。
- ② 試験時間中に面接官が指示する以外のパソコン、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の操作 (インターネットでの検索等) を行うこと。
- ③同室内に複数名で受験すること。
- (6) 試験当日、大学側から連絡を行う場合がありますので、入学願書に記載した電話・メールアドレスおよび受験料納入の際に記入した連絡先について確認・返答できる状態にしておいてください。
- (携帯電話・スマートフォンは、試験中はマナーモードにして手元から離れたところに置き、有事の際の連絡以外には使用できない状態にしておくこと。)
- (7) その他受験する本人の環境不備により、試験に不具合が生じた場合は、試験開始予定時刻から 30 分以内に本学入試部 (TEL : 075-645-7887) までご連絡ください。万が一、電話が繋がらない場合はメールにてご連絡ください (Email : nyushi-jisshi@ad.ryukoku.ac.jp) 。
- なお、試験終了後にご連絡いただいた場合には試験の実施が成立しない可能性があります。あらかじめご了承ください。

避難民・難民対象

正規留学生 大学院

学科試験方式 入学試験要項

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です。

■出願資格

修士課程	<p>避難民・難民であり、外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）。</p> <ul style="list-style-type: none">○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 <p>* 本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p> <p>* 国際学研究科国際文化学専攻・言語コミュニケーション専攻については、上記と併せて日本語能力試験N1に合格していること（2022年4月1日以降に受験したものに限り）。</p> <p>* 経営学研究科については、上記と併せて日本語能力試験N1に合格していること（2022年4月1日以降に受験したものに限り）。ただし、日本の4年生大学卒業者（2025年3月卒業見込みの者を含む）をのぞく。</p> <p>なお、避難民・難民の自国の情勢により出願資格等が満たせない場合は、研究科委員会において個別に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none">① 日本留学試験や日本語能力試験が受験できない場合② 卒業証明書・成績証明書等の出願書類の一部が提出できない場合③ その他出願に際して支障がある場合
博士後期課程	<p>避難民・難民であり、外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み）し、かつ大学機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）。</p> <ul style="list-style-type: none">○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 <p>* 本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p> <p>なお、避難民・難民の自国の情勢により出願資格等が満たせない場合は、研究科委員会において個別に判断する。</p>

- ① 日本留学試験や日本語能力試験が受験できない場合（政策学研究科以外）
- ② 卒業証明書・成績証明書等の出願書類の一部が提出できない場合
- ③ その他出願に際して支障がある場合

■入試スケジュール・選考方法

大学院修士課程

募集研究科	出願期間 ※郵送または持参	1次審査結果通知日	2次審査日	試験会場	合格発表
文学研究科	2024年9月27日(金) ～10月4日(金) 締切日消印有効	2次審査日の約1週間前	2024年11月9日(土)	龍谷大学 深草キャンパス	2024年11月16日(土)
経営学研究科					
法学研究科					
政策研究科			2024年11月10日(日)		
国際学研究科					
実践真宗学研究科			2024年11月9日(土)	龍谷大学 瀬田キャンパス	
心理学研究科					
先端理工学研究科					
社会学研究科					
農学研究科					

※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻は、学科試験方式は実施しません。

大学院博士後期課程

募集研究科	出願期間 締切日消印有効 ※郵送または持参	1次審査結果通知日	2次審査日	試験会場	合格発表
文学研究科	2024年12月9日(月) ～12月13日(金)	2次審査日の約1週間前	2025年2月24日(月)	龍谷大学 大宮キャンパス	2025年2月27日(木)
心理学研究科					
経営学研究科			2025年2月22日(土)	龍谷大学 深草キャンパス	
政策学研究科					
国際学研究科				龍谷大学 瀬田キャンパス	
先端理工学研究科					
社会学研究科					
農学研究科					

※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻は、学科試験方式は実施しません。

1次審査内容（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
審査結果	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず受験票を持参してください。

2次審査内容

研究科		試験科目・試験時間			
文学研究科	修士課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 外国語筆答試験（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語から1科目選択ください母語を除く） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:45~12:15 専門科目筆答試験（専攻別）	13:15~ 口述試験（専門科目を主としたもの）
	博士後期課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 外国語筆答試験（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語から1科目選択ください母語を除く） ≪英語英米文学専攻≫英語に限る 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持ち込み不可	10:50~12:20 専門科目筆答試験（専攻別） 【ただし下記の専攻は試験内容に留意すること】 ≪真宗学専攻≫文献読解（仏教漢文）を含む ≪仏教学専攻≫文献読解（サンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文から1科目選択） ≪教育学専攻≫教育学、教育心理学のうち1科目選択 ≪日本史学専攻≫古代～近現代史料読解を含む ★仏教学専攻および教育学専攻については出願時に選択科目を届出（試験当日の科目変更不可） ★語学に関する辞書1冊持ち込み可（ただし、電子辞書は不可）	13:15~ 修士論文を主とした口述試験
経営学研究科	修士課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語による専門科目筆答）	10:45	口述試験
	博士後期課程	8:55~9:15 説明・書類記入	9:15~10:45 外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうちから1科目選択ください、母語を除く） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）	11:00~12:30 小論文 （日本語による専門科目筆答）	13:30~ 口述試験 （専攻科目を主としたもの）
法学研究科	修士課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語）	10:45~	口述試験（日本語） （出願書類・小論文を主としたもの）
政策学研究科	修士課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語・英語のうちから選択） 【出願時に届出】 ★当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:45~	口述試験 （出願書類・小論文を主としたもの）
	博士後期課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語・英語のうちから選択） 【出願時に届出】 ★当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:45~	口述試験 （修士論文を主としたもの）
国際学研究科	国際文化学専攻 修士課程	14:10~14:30 説明・書類記入	14:30~ 口述試験（出願書類などを主としたもの）※		
	言語コミュニケーション専攻 修士課程		14:30~（30分程度） 口述試験※		

国際学 研究科	博士 後期課程 国際文化学 専攻	11:10~11:30 説明・書類記入	11:30~13:00 外国語筆記試験〔英語・中国語・ロシア語・フランス語・日本語から、母語以外の1科目選択〕 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可 ※ただし、母語以外の1科目において、外国語<英語>については、TOEIC® L&R 590点、TOEFL- iBT® 69点、国際連合公用語英語検定試験（B級）、もしくは実用英語技能検定（準1級）、<フ ランス語>については、フランス語検定 準1級、<中国語>については、HSK（漢語 水平公試） 5級、または、日本中国語検定2級、<ロシア語>については、ハングル能力検定準2級または、 韓国語能力検定（TOPIK）3級、<日本語>については、「日本語能力試験」（公益財団法人日本 国際教育支援協会／国際交流基金）のN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に關 する証明書」の基準を満たす者は外国語筆答試験を免除します。証明書を添付してください。 （「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」はコピー不可、その他はコピー可）。な お、TOEIC® L&RおよびTOEFL®（iBT）については、2022年4月1日以降に受験したものに限りま す。	14:30~ 口述試験 （専門科目を主としたもの）
		8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~9:50 英語	10:10~ 口述試験
先端理 工学 研究科	博士 後期課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~ 修士論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験	
		10:10~10:30 説明・書類記入	10:30~12:00 小論文（日本語による各専攻・コースの専門領域に関するもの）	12:30~ 口述試験（各専攻・コースの 専門領域を主としたもの）
社会学 研究科	博士 後期課程	10:40~11:00 説明・書類記入	11:15~12:45 小論文（日本語による専攻科目に関するもの）	13:45~ 口述試験 （専攻科目を主としたもの）
		10:00~10:20 説明・書類記入	10:20~ 口述試験（出願書類を主としたもの）	
農学 研究科	博士 後期課程	10:00~10:20 説明・書類記入	10:20~ 口述試験 （これまでの研究内容に関して、英語または日本語によるプレゼンテーションを行い、それに対する質疑応答を行います。）	
		8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 外国語筆答試験（英語・日本語から1 科目選択<ただし母語を除く>） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:45~12:15 専門科目筆答試験 〔専門科目筆答試験並びに実践についての論述試験〕
実践真 宗学 研究科		8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 外国語筆答試験（英語・日本語から1 科目選択<ただし母語を除く>） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:45~12:15 専門科目筆答試験 〔専門科目筆答試験並びに実践についての論述試験〕
心理学 研究科	博士 後期課程	8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語）	10:45~12:15 専門科目筆答試験
		8:40~9:00 説明・書類記入	9:00~10:30 小論文（日本語）	10:50~12:20 専門科目筆答試験

※避難民・難民の自国の情勢に鑑み、受験生の状況に応じて研究科委員会が必要と認めた場合は、オンラインで実施する。

試験室は当日掲示します。試験開始後 30 分以上遅刻した者は、受験できません。

注. 文学研究科・経営学研究科（博士後期課程）・国際学研究科（博士後期課程）・政策学研究科・実践真宗学研究科では、出願時に外国語科目選択の届出が必要です。試験科目選択シートに記入し、提出してください。

合 否 判 定	学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
---------	--

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

やむを得ない事情により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

出願研究科	文学研究科	経営学研究科	法学研究科	政策学研究科	国際学研究科	先端理工学研究科	社会学研究科	農学研究科	実践真宗学研究科	心理学研究科
(1)入学願書 (2)出願シート (3)卒業証明書・成績証明書 (6)難民認定書のコピー (7)在留カードのコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)日本語能力認定書(本学所定用紙)	○	○	○	○ ※修士課程のみ	○	○	○	○	○	○
(5)試験科目選択シート(本学所定用紙)	○	○ ※博士後期課程のみ	×	○	○ ※博士後期課程のみ	×	×	×	○	×
(8)卒業論文・卒業研究、またはこれまでに作成した学術的なレポート(修士課程のみ)	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
(9)英語力を示す学部テストのスコア(修士課程のみ)	×	×	×	×	○ ※言語コミュニケーション専攻のみ	×	×	×	×	×
(10)研究計画書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(11)修士論文(コピー)・修士論文要旨 ※博士後期課程出願者のみ	○	○	/	○	○	○	○	×	/	○

(1) 入学願書(本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 出願シート(本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。修了するまで使用するのに相応しい服装とします。

※入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

※入学後、学生証の写真を差し替える場合は、有料となります。

大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

(3) **卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）**

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※ 国際学研究科出願者で、修士・博士後期課程修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は単位修得証明書も提出してください。

博士後期課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※ 修士の学位を得た者および2025年3月までに修士の学位を得る見込みの者は、学部の卒業証明書および成績証明書の提出は不要です。

② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

※ 国際学研究科出願者で、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

- ① 卒業（修了）見込の場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。その場合、卒業（修了）後、必ず卒業（修了）証明書を入学手続時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間すべての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 先端理工学研究科出願者は、英語または日本語の言語で発行された証明書を提出してください。
- ④ 中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网」（学信網）（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网」（学信網）へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。
※ 「教育部學歷證書電子注冊備案表」または「教育部学籍在線驗證報告」は有効期限が試験日より後であるものに限りません。
- ※ 「公証書」は不可。
- ⑤ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという翻訳証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑥ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) **日本語能力認定書（本学所定用紙）※政策学研究科博士後期課程出願者は不要**

国際学研究科修士課程国際文化学専攻・言語コミュニケーション専攻出願者は「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N1 の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）（2022年4月1日以降に受験したものに限り）を提出してください。国際学研究科修士課程国際文化学専攻・言語コミュニケーション専攻以外の出願者で、以下に該当する場合、本学所定用紙の認定書は不要です。

- ・「日本語能力試験」N1の受験者は、「日本語能力試験」N1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）（2022年4月1日以降に受験したものに限り）を提出してください。
- ・経営学研究科については、上記と併せて「日本語能力試験」N1に合格していること（2022年4月1日以降に受験したものに限り）。ただし、日本の4年生大学卒業者（2025年3月卒業見込みの者を含む）をのぞく。

(5) **試験科目選択シート（本学所定用紙）**

次の研究科に出願する場合のみ提出してください。

文学研究科・経営学研究科（博士後期課程）・国際学研究科（博士後期課程）・政策学研究科・実践真宗学研究科

(6) **難民認定書等のコピー**

「難民認定証明書」等のコピーを提出してください。

※政府・行政機関や国連関係機関等が発行する難民認定に係る証明書でも可とすることがありますので、まずはお問い合わせください。

(7) **在留カードのコピー**

在留カードの表と裏の面をA4サイズの用紙にコピーしたものを提出してください。

(8) **卒業論文・卒業研究（未完成の場合は現在作成中のもの）、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（字数制限なし・新規作成可）（国際学研究科修士課程出願者のみ）**

- ※国際文化学専攻出願者で、提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）も併せて提出してください。
- ※言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語または英語に限ります。

(9) **英語力を示す外部テストのスコア（国際学研究科修士課程言語コミュニケーション専攻出願者のみ）**

TOEIC® L&R 730点、TOEFL iBT®80点、IELTS™6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。2022年4月1日以降に受験した資格検定試験を有効とします。

※第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者はスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IP オンラインテストは含みません。

※TOEIC® L&R および TOEFL iBT®については、外部テストの試験日が、2022年4月1日以降のものに限ります。

※TOEFL® のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「TestTaker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※ TOEFL iBT® テストは Test Data スコアに限ります。（「My Best™ scores」は利用できません）。

(10) **研究計画書（本学所定用紙）**

国際学研究科修士課程言語コミュニケーション専攻出願者は日本語および英語各 1 点を提出してください。希望指導教員（第一、第二希望）を記入してください。

(11) **修士論文（コピー）・修士論文要旨（農学研究科を除く）**

博士後期課程への出願者は以下の要領で提出してください。

文学研究科以外は、出願時に提出してください。

文学研究科	2025年1月6日(月)～1月15日(水)の期間（締切日必着）に修士論文の要旨および修士論文のコピーを市販の封筒にて文学研究科へ簡易書留・速達で郵送してください。 送付先 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 の 1 龍谷大学文学部教務課 入試係宛 〈修士論文在中〉と封筒に朱書きのこと。
経営学研究科	修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文の要旨）
政策学研究科	修士論文の要旨および修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿） ※ただし、公刊論文がある場合はそれを添付することができる。 ※提出する修士論文が日本語以外の場合は、日本語の修士論文の要旨および日本語に訳した修士論文を併せて提出すること。
国際学研究科	①修士論文のコピー 2部 なお、修士論文が未完成の場合は、現在作成中のもの。また、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物 ②修士論文要旨 次の要領にて提出してください（修士論文がない場合は、これに準じる要旨）。 日本語の修士論文の場合、英語（400words程度）による要旨 日本語以外の修士論文の場合、日本語（800字程度）、または英語（400words程度）による要旨
先端理工学研究科	修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）
社会学研究科	修士論文のコピー、またはそれにかわるもの（修士課程修了見込の者は修士論文の要旨）
心理学研究科	修士論文要旨（母国語・日本語の両方）

修士論文（コピー）は、仮綴りまたはファイルしたものを提出してください。

避難民・難民対象

正規留学生 大学院

国際学研究科グローバルスタディーズ専攻 書類審査方式 入学試験要項

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です。

■出願資格

修士課程	<p>避難民・難民であり、外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）。</p> <ul style="list-style-type: none">○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 <p>* 国際学研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p> <p>なお、避難民・難民の自国の情勢により出願資格等が満たせない場合は、研究科委員会において個別に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none">① 日本留学試験、日本語能力試験、TOEIC®等、出願に必要な外部試験を受験できない場合② 卒業証明書・成績証明書等の出願書類の一部が提出できない場合③ その他出願に際して支障がある場合
博士後期課程	<p>避難民・難民であり、外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み）し、かつ大学機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）。</p> <ul style="list-style-type: none">○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 <p>* 国際学研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p> <p>なお、避難民・難民の自国の情勢により出願資格等が満たせない場合は、研究科委員会において個別に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none">① 日本留学試験、日本語能力試験、TOEIC®等、出願に必要な外部試験を受験できない場合② 卒業証明書・成績証明書等の出願書類の一部が提出できない場合③ その他出願に際して支障がある場合

■入試スケジュール・選考方法

大学院修士課程・博士後期課程

募集研究科	専攻	出願期間 ※郵送または持参	選考方法	合格発表
国際学研究科	グローバル スタディーズ専攻	2024年9月23(月) ～9月29日(日) 締切日消印有効	出願書類による総合評価	11月16日(土)

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

やむを得ない事情により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

(1) 入学願書(本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 出願シート(本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。修了するまで使用するのに相応しい服装とします。

※入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

※入学後、学生証の写真を差し替える場合は、有料となります。

(3) 卒業証明書・成績証明書(いずれも原本)

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※ 修士・博士後期課程修了(見込)者は、修士・博士後期課程の修了(見込)証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は単位修得証明書も提出してください。

博士後期課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※ 修士の学位を得た者および2025年3月までに修士の学位を得る見込みの者は、学部の卒業証明書および成績証明書の提出は不要です。

② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

※ 博士後期課程修了(見込)者は、博士後期課程の修了(見込)証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

注意事項

- ① 卒業（修了）見込の場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。その場合、卒業（修了）後、必ず卒業（修了）証明書を入学者時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間すべての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网」（学信網）（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部学歴証書電子注册備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网」へ登録してダウンロードした「教育部学籍在线验证报告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。
※「教育部学歴証書電子注册備案表」または「教育部学籍在线验证报告」は有効期限が試験日より後であるものに限りません。
※「公証書」は不可。
- ④ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという翻訳証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑤ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) 英語力を示す外部テストのスコア

修士課程出願者は、TOEIC[®] L&R 730 点、TOEFL iBT[®]80 点、IELTS[™]6.0 のいずれかを満たすスコアを提出してください。

博士後期課程出願者は、TOEFL iBT[®]100 点、IELTS[™]6.5 のいずれかを満たすスコアを提出してください。

※第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者はスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。

※TOEIC[®] L&R IP テストは含みません。TOEIC[®]L&R IP オンラインテストは含みません。

※TOEIC[®] L&R および TOEFL iBT[®]については、外部テストの試験日が、2022 年 4 月 1 日以降のものに限りません。

※TOEFL[®]のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports(公式スコアレポート)」また「Test Taker Score Report(受験者控用スコアレポート)」のいずれかを提出してください。

*TOEFL iBT[®]テストは Test Date スコアに限りません。（「MyBest[™] scores」は利用できません）

(5) 難民認定証明書等のコピー

「難民認定証明書」等のコピーを提出してください。

※政府・行政機関や国連関係機関等が発行する難民認定に係る証明書でも可とすることがありますので、まずはお問い合わせください。

(6) 在留カードのコピー

在留カードの表と裏の面を A4 サイズの用紙にコピーしたものを提出してください。

(7) **研究計画書（本学所定用紙）**

修士課程：英語 1 部（本学所定の英語対応用紙）希望指導教員（第一、第二希望）を記入してください。

博士後期課程：英語 1 部（本学所定の英語対応用紙）

(8) **論文・論文要旨等（様式自由）**

修士課程出願者

大学の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中のもの）、またはこれまでに作成した学術的なレポートを 1 点（コピー）

※英語に限ります。

博士後期課程出願者

大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを 1 点（文字数制限なし）

修士論文（コピー）は、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

お問い合わせ先一覧

〈入試に関するお問い合わせ〉

龍谷大学 入試部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL : 0570-017887 FAX : 075 (645) 4155

E-MAIL : ryukoku-application@ml.ryukoku.ac.jp

〈留学生入試全般出入国在留管理局への代理申請に関するお問い合わせ〉

龍谷大学 グローバル教育推進センター事務部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL : 075 (645) 7898 FAX : 075 (645) 2020 E-MAIL : r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

〈在留資格・その他の各学部・大学院へのお問い合わせ〉

文学部・文学研究科		
実践真宗学研究科	TEL 075 (343) 3317	
心理学部・心理学研究科		
経営学部・経営学研究科	TEL 075 (645) 7895	
法学部・法学研究科	TEL 075 (645) 7896	月曜日・水～金曜日
政策学部・政策学研究科	TEL 075 (645) 2285	9 : 00～11 : 45 12 : 45～17 : 00
国際学部・国際学研究科	TEL 075 (645) 5645	火曜日
先端理工学部		10 : 45～11 : 45 12 : 45～17 : 00
先端理工学研究科	TEL 077 (543) 7730	
社会学部・社会学研究科	TEL 077 (543) 7760	
農学部・農学研究科	TEL 077 (599) 5601	

〈「日本語能力試験 (JLPT)」に関するお問い合わせ〉

公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験 (日本国内) 受付センター

TEL : 03 (6686) 2974

〈「日本留学試験 (EJU)」に関するお問い合わせ〉

●成績照会に関するお問い合わせ

日本留学試験受付センター

TEL : 0570 (55) 0585

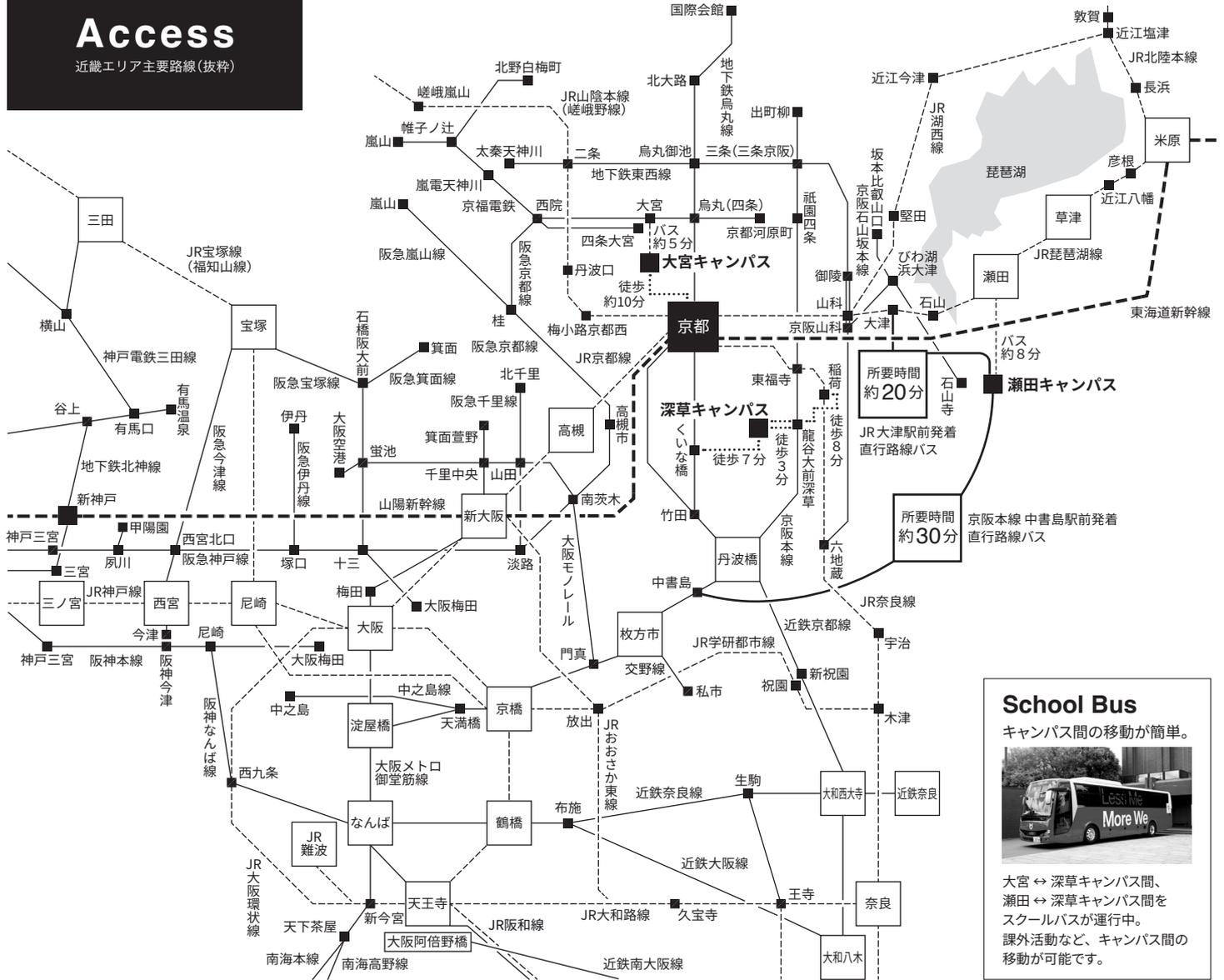
●その他お問い合わせ

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

TEL : 03 (6407) 7457 <https://www.jasso.go.jp/eju/>

Access

近畿エリア主要路線(抜粋)



School Bus

キャンパス間の移動が簡単。

大宮 ↔ 深草キャンパス間、瀬田 ↔ 深草キャンパス間をスクールバスが運行中。課外活動など、キャンパス間の移動が可能です。

深草キャンパス (京都市)

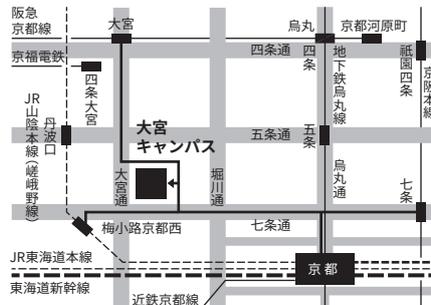
(設置学部・大学院)
 文学部(1・2年生) 心理学部(1・2年生) 経済学部
 経営学部 法学部 政策学部 国際学部 社会学部
 法学研究科 経済学研究科 経営学研究科
 政策学研究科 国際学研究科 社会学研究科



JR奈良線 稲荷駅下車、南西へ徒歩8分
 京阪本線 龍谷大前深草駅下車、西へ徒歩3分
 京都市営地下鉄烏丸線 くないな橋駅下車、東へ徒歩7分

大宮キャンパス (京都市)

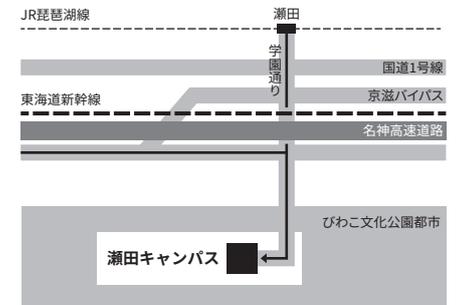
(設置学部・大学院)
 文学部(3・4年生) 心理学部(3・4年生)
 文学研究科 実践真宗学研究科
 心理学研究科(2025年4月開設予定)



JR東海道本線・近鉄京都線 京都駅下車、徒歩10分
 JR山陰本線(嵯峨野線) 梅小路京都西駅下車、徒歩10分
 阪急京都線 大宮駅より市バス乗車5分、「七条大宮」下車すぐ
 京阪本線 七条駅下車、徒歩20分

瀬田キャンパス (滋賀県大津市)

(設置学部・大学院)
 先端理工学部 農学部
 先端理工学研究科 農学研究科



JR琵琶湖線 大津駅下車、近江バス20分(直行便)
 京阪本線 中書島駅下車、京阪京都交通バス30分(直行便)
 JR琵琶湖線 瀬田駅下車、産産バス8分

